



## 会友善 関西善友会を発足し 寺院の活性化を目指す

なったことや、反発した総代らも寺院を離れず関係を保っている現状などを話した。(写真)

橋本住職は今後につい

「檀家制度を廃止する」  
 ことを打ち出して注目されている曹洞宗の橋本英樹見性院住職が立ち上げた有志僧侶の会の善友会が22日、第4回研修会を京都市の和順会館で開き、合わせて関西善友会を発足させた。

「檀家制度を廃止する」  
 僧侶が参画し、葬儀・法事者へと転身し、今も年間1200人の若者に「人間繁盛の法則」を説く井本全海勝光寺住職が、人間繁盛を研究を積んでいきたい。という言葉に行き着いた半生を語った。

研修会では、釣島平三郎太成学院大学経営学部教授より僧侶への厳しい提言を聞き、かつ寺院経営に関しての視点を考える講義を聴いた。

また、橋本住職は自身の関西善友会を立ち上げた。僧侶派遣のための人材育成を進め、寺院経営の互助ができる人材のネットワークを作りたいと話している。

お布施の低価格化や僧侶の質の低下に歯止めがかからない状況を憂慮して立ち上